

「看護の日」イベントを開催しました



平成30年5月12日（土）、大原総合病院看護部では、正面玄関ホールにて「看護の日」イベントとして「おおはら1日保健室」を開催しました。

「脳年齢テスト」「骨密度測定」「手の衛生チェック」「体脂肪測定」「健康相談・栄養相談・こども相談」などのコーナーを設け、約90名の方々にご参加いただきました。

骨密度測定の結果をもとに保健師・栄養士がアドバイスを行ったり、ホスピタルクラウンのピエロ姿のピッピさんのバルーンアートや、ジャグリングのパフォーマンスも好評でした。

当財団は、これからも市民の皆様の健康増進活動に、積極的に取り組んでまいります。



看護の心をみんなの心に

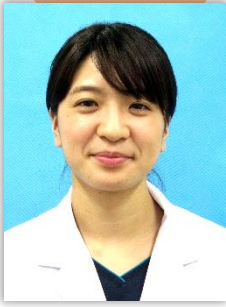
5月12日は
看護の日

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、国際看護師協会(本部:ジュネーブ)は、1965年から5月12日を「国際看護師の日」に決めました。

日本でも、市民・有識者による「看護の日の制定を願う会」の運動がきっかけとなり、旧厚生省によって1990年に「看護の日」が制定されました。

医師紹介

平成 30 年 5 月採用の医師をご紹介します。



おの まなみ
氏 名 : 小野 愛実
前 勤 務 先 : 福島県立医科大学附属病院
担 当 科 : 歯科口腔外科
出 身 地 : 福島県いわき市
出 身 大 学 : 東京歯科大学
卒 年 : 平成 26 年

地域医療に、少しでも貢献できる
よう努力したいと思います。
宜しくお願いします。



— Information —

平成 30 年 4 月 19 日(木)に大原総合病院 5 階講堂において、財団管理職者対象の「平成 30 年度トップセミナー」が行われました。講師として、福島民友新聞社 代表取締役社長の五阿弥宏安様をお迎えし、「変わる社会 変わる医療 ー長寿革命と医療者への期待ー」をテーマに、約 50 分のご講話をいただきました。

日本医療ジャーナリスト協会や医療の質・安全学会の会員、日本医療機能評価機構の委員でもある五阿弥社長からは、現在並びに今後の高齢者像や健康長寿への取り組みについて、福島県の情報を担う報道機関のトップとして、ジャーナリストとして、また両親を看取った経験者として、多角的な立場からお話いただきました。

参加者たちは、これからの長寿社会における医療が担う役割を再認識するとともに、医療業界における管理職者としての意識をより高めることができました。



平成 30 年 4 月 24 日(火)福島キワニスクラブ様より、「キワニスドール」30 体と「絵本」30 冊をご寄贈いただきました。

6 階東子どもセンター(小児病棟)「わくわくルーム」で行われた贈呈式では、事務局の柴木良治様が、小児科医師・看護師・病棟保育士へ、入院中の子供たちのために、貴重な「キワニスドール」を直接手渡していただきました。

キワニスクラブは、「世界の子供たちのために奉仕する」を使命とした国際的な社会奉仕団体で、福島キワニスクラブは 2008 年、東北で 2 番目に設立されたクラブです。

キワニスドールは、会員やボランティアの方々が思いを込めて手作りしている身長 40cm、体重 50g の真っ白な布製の人形で、医師がキワニスドールの部位を指差して病状を聞いたり、お子さまが自由にペンで顔を描いたり色を塗ったりすることで、心に寄り添った診察や治療を支える存在として世界中で活用されています。

贈呈式の最後には、当財団より福島キワニスクラブ様へ感謝状をお贈りしました。



大原記念財団の理念

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一歩先行く医療を探究し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制 作 大原総合病院 総合患者支援センター

発行者 一般財団法人大原記念財団

理事長 平子 健

電話 024(526)0371 ダイヤルイン

FAX 024(526)0935

代表 024(526)0300

住所 福島市上町 6 番 1 号

大原記念財団職員行動規範 10 カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。